

第18号

2013年12月1日

発行 山梨大学医学部附属病院

UNIVERSITY OF YAMANASHI HOSPITAL



〒409-3898
山梨県中央市下河東1110
TEL: 055-273-1111(代)
病院広報委員会(病院経営企画室)
病院ホームページ
<http://www.hosp.yamanashi.ac.jp/>

開院30周年を迎えました

病院長 島田 眞路

平成25年10月25日、甲府富士屋ホテルで「山梨大学医学部附属病院開院30周年記念式典」、「記念講演会」並びに「祝賀会」が開催されました。

当日は、山梨県出身の文部科学省事務次官・山中伸一氏、同じく県出身で前山梨大学副学長の文部科学省大臣官房会計課長・佐野太氏、7名の県選出国会議員の方々をはじめとして、県からは横内正明知事、山梨県医師会からは薬袋健会長にご臨席賜り、220名の参会者を得た盛大な記念式典となりました。皆様からはお心のこもったご祝辞を多々頂戴し、大変うれしく深く感謝しております。

また、講演会では、神戸国際フロンティアメディカルセンター理事長・京都大学名誉教授である田中紘一先生の未来の医療に関する素晴らしいご講演を拝聴することが出来ました。この機会に改めて山梨県唯一の特定機能病院

としての責任の重さを痛感しているところではあります。

現在、病院再整備事業も順調に進んでおり、新病棟も1年半後に完成予定です。また、今年度の研修医マッチング率も上昇したところで、絶妙のタイミングで30周年を迎えることが出来て安堵しております。

今後とも皆様のご支援、ご協力の程をよろしくお願い申し上げます。



開院30周年記念式典の様子

病院駐車場及び新病棟建設工事に関するお知らせ

病院経営企画室

現在、場所が分散し、病院玄関からの距離も遠く、患者さんをはじめご来院の皆様にご不便をお掛けしている病院駐車場について、全体を一箇所に集中させるとともに、身障者駐車スペースの拡張等、患者さんの利便性向上のための立体化工事を実施しています。この整備が完了

しますと平面の駐車スペースと併せ、約600台の車両を駐車することが可能になります。また、災害発生時等、緊急時には駐車場の一部を屋外臨時診察スペースとして利用できる仕組みを取り入れています。完成は平成26年3月で、4月から運用を開始する予定です。



病院駐車場完成予想図

病院駐車場とともに、建設を進めている附属病院の新病棟は、現在は病棟全体を地震災害に強い病院とするための免震構造体を作成する作業

を行っております。この作業終了後に建物自体の建設に取りかかります。新病棟が地上に姿を現してくるのは年明けになる見込みです。駐車場・新病棟ともに工事期間中は皆様にご不便、また、騒音等ご迷惑をお掛けいたしますが、患者さんの療養環境の更なる充実を目指して取り組みますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



新病棟建設工事の状況 (平成25年11月18日現在)

領収明細書の発行について

医事課

11月5日から、診療費自動支払機の更新に伴い、全ての患者さんに領収明細書が発行できるようになりました。

なお、自己負担金のない(領収書のない)患者さん、または、過去分の領収明細書発行を希望する患者さんについては、医事課④番計算受付窓口で申込みをしていただくことで、当日発行いたします。やむを得ず当日発行できない場合は、次回ご来院日等を確認のうえ、後日発行いたします。ご協力をお願いいたします。



更新された診療費自動支払機

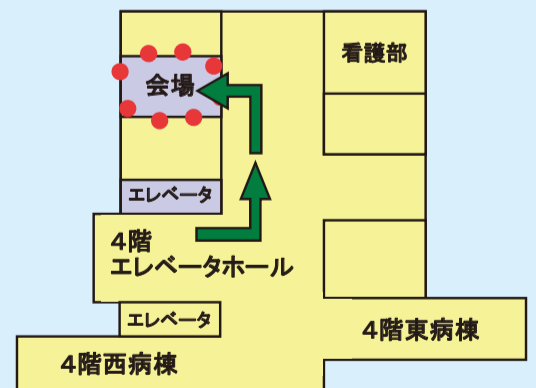
緩和ケアチームによる「緩和ケア教室」のお知らせ

下記日程で、毎月2回緩和ケア教室を開催します。月の前半は薬剤師による医療用麻薬の使用に関する内容で、月の後半は緩和ケア医師と看護師による緩和ケア全般に関する内容です。どちらも13時30分から1時間程度のお話です。予約の必要はありませんので、患者さんやご家族、地域の住民の方など、どなたでもご参加下さい。

【平成26年の開催日】

～医療用麻薬の使い方～ (薬剤師が説明)	～緩和ケア全般について～ (医師と看護師が説明)
1月6日(月)	1月20日(月)
2月3日(月)	2月17日(月)
3月3日(月)	3月17日(月)
4月7日(月)	4月21日(月)
5月12日(月)	5月26日(月)
6月2日(月)	6月16日(月)
7月7日(月)	7月28日(月)
8月4日(月)	8月18日(月)
9月1日(月)	9月22日(月)
10月6日(月)	10月20日(月)
11月10日(月)	11月17日(月)
12月1日(月)	12月15日(月)

【開催場所】 病院4階カンファレンスルーム



山梨大学医学部附属病院
緩和ケアチーム
飯嶋 哲也(麻酔科医師)
石黒 浩毅(精神科医師)
牛田 弘美(緩和ケア認定看護師)
鈴木 和香子(薬剤師)
連絡先: 055-273-1111(代表)
(牛田弘美: 内線4781)

「一日看護師」を体験して

看護普及事業の一環として、平成25年6月12日に「一日看護師」が実施され、看護に関心のある高等学校生徒が白衣に着替え、各病棟にて看護師と一緒に看護を体験しました。

山梨県立甲府昭和高校 2年 塩沢 倫留^{みちる}

いつもは入ることができない手術室に入ることができてとても貴重な体験ができました。手術をする患者さんは、麻酔などをしている、話すことができないので、手でさわることによって、患者さんの状態を知る看護師さんがすごいと思いました。また、手術する器具の名前を覚えたり、痛くないように注射をしたり、細かい気配りだけでなく、記憶力や技術も重要なんだと、改めて感じることができました。手術室に入る時にする特別な手洗いや、手術の器具にさわらせてもらうなどして、普段なら知ることのできない病院の裏側が見れて、とてもいい勉強になりました。看護師さんでもいくつか種類があることもわかり、色々な人とたくさん接することができてよかったです。

今日、色々体験したことは、自分の将来を決める時の幅を広げてくれるいい機会でした。この経験を生かして、これからの進路をしっかりと考えていきたいです。

山梨県立甲府昭和高校 2年 志村 奏美^{かなみ}

一日看護師体験をする前でも、看護師になりたいと思っていた私にとってこの体験は、自分にとって得るものばかりでした。看護師さんの話だけでなく、実際に病室に入って患者さんとお話したり、治療を見たり、普段の生活では絶対に体験できないことをすることができました。また、看護師の仕事の意味や大切なこともわかりました。看護師の仕事はただ入院している患者さんなどの治療のサポートをするだけではなく、病院の怖さや病気への不安を少しでもやわらげることができるようなやすらぎを与えることなのかなと思いました。私自身入院したことはありませんが、きっと小さい子や心に不安を抱えている人の大きな心の支えとなるのが看護師なのだと大きく感じました。どんなに患者さんに嫌なことをいわれても、どんなわがままにも、いつも笑顔で優しくいられることはなかなかできないことであると思うので、それがさっとできる看護師のみなさんの優しさや思いやりに心をうたれました。

今回のこの体験で以前よりもいっそう看護師という仕事への興味・関心が深まり、なりたいたいという気持ちが強くなりました。私の進路に大きな影響となったので生かしていきたいです。

栄養管理部長就任あいさつ

栄養管理部長 小林 貴子



平成25年度から栄養管理部長に就任しました小林貴子です。栄養管理部は食を通して入院・外来の診療をサポートしています。

患者さん一人ひとりに適した病院食を主治医の指示の下、約180種類の食種の中から400～450人/回に提供しています。

本院の病院食は、一般食と治療食に大別され、調理師達が心をこめて食事を作っています。治療食とは、糖尿病食(14種類)・糖尿病性腎症食(39種類)・腎臓病食(16種類)・肝臓病食(5種類)・膵臓病食(5種類)・脂質異常症食(8種類)・心臓病高血圧食(6種類)・術後食(13種類)などです。使用食材・調理方法・塩分等の制限がある治療食は、ご家庭の食事と比べ物足りないさや食べにくさを感じる方もいらっしゃるかと思います。しかし治療上必要な食事です。治療食の患者さんのもとには、管理栄養士が入院中の食事内容の説明に伺います。入院中にぜひ治療食に関心を持っていただき、お気軽にご相談ください。

また、ご家庭で行う身体に優しい食事の説明(栄養指導)を入院・外来の患者さんを対象に行っています。何をどのくらい食べたらよいのか、食べ方のコツや調理の工夫について具体的にお話します。希望される方は、主治医にご相談ください。時間は平日9:00～17:00、場所は栄養相談室(外来2階)です(栄養指導には主治医からの予約が必要です)。

今後とも管理栄養士・栄養士・調理師等の部員とともに「安全で信頼される給食」を目指していきます。

副看護部長就任あいさつ

副看護部長 井上 貴美



本年8月1日付で、看護部副看護部長に就任しました。担当は教育です。それまでは、緩和ケアチームの看護師として10年間活動をしていました。患者さんやご家族、そして多くのスタッフと関わる中で、学ぶことが沢山ありました。人の生き方、価値観は様々であり、同じ人は一人としていないということ、誰もが尊重されるべき大切な存在であることを知ることができました。そして看護する上で私が大切にしてきたことは「傾聴すること」と「寄り添い向き合うこと」です。「自分が何を大切にしているか、何のためにそのことをするのか」と自分にも問いかけながら、病院の理念である「一人ひとりが満足できる病院」を目指し、今後も精進してまいりたいと思います。

ISO15189の認定を取得しました

検査部 臨床検査技師長 小池 亨

街で“〇〇工場：ISO9001認証取得”の看板を目にしたことがありますか？ISO9001とは、品質管理及び品質保証に関する国際規格で、この仕組みを臨床検査室に適



認定証

応したものが「ISO15189」と呼ばれるものです。

山梨大学医学部附属病院検査部は、平成25年6月27日に、国際標準化機構が制定した「ISO15189」(臨床検査室における品質と能力に関する国際規格)を取得することができました。この認定は、山梨県で初、国立大学病院で14番目の取得であります。

今後も国際的にも通用するISO15189認定検査室として、更なる検査の質の向上をめざし、皆様に信頼され迅速かつ的確な検査情報の提供に努めてまいります。

「子ども達の音楽会」

院内学級 米山 瑞穂

病院の中にある学校「院内学級」では入院している児童生徒が学習を行っています。子ども達は、9月から治療や勉強の合間に楽器の練習を行い、10月22日に合奏を発表しました。講師の方々は、美しい歌声や澄んだオカリナの音色を奏でてください、子ども達へ元気をくださいました。この音楽会が子ども達への励みになればと思います。



講師の方々(声楽家の顔取さんと小林さん、オカリナ奏者の岩井さん)と交流する子ども達

消防訓練の実施

管理課

本院において、去る10月15日に消防訓練を実施しました。

訓練では、日中の火災発生を初めて想定し、外来患者さんの迅速な避難誘導を行うとともに、出火想定場所の初期消火や屋内消火栓を使用した放水訓練を行いました。今回は、情報伝達を特に重視し、参加者は、院内放送の指示により緊張感を持って機敏に行動し、実際の火災時における対応を習得するよう努めました。



放水訓練の様子